

令和6年度 事務事業評価シート（１）

[令和5年度事務事業]

一般会計		事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	農業振興事業	事業番号	015-036
担当部署名	産業振興	局	農政
		部	農水産
			課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ～Attractive～		施策	(7) 次世代につなげる農業の促進		
			有	取組の方向性	②持続可能な農業振興					
		寄与するKPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(2)飢餓をゼロに		ターゲット	2.3,2.4		
			有	取組	農業経営の基盤強化、スマート農業の推進					
		寄与するKPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		
2	関連計画			第4期大阪府アライグマ防除実施計画、大阪府イノシシ第二種鳥獣管理計画（第4期）						
3	事業開始年度			平成 16 年度		点検対象年度		令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)									

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	農業者（農家戸数 2020年農林業センサス）	対象数	単位		
			2,172	戸		
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	有害鳥獣対策を行うことで、農作物被害の発生を防止し、市内農業生産量の確保、農地の保全を図るとともに、大阪府農業共済組合が行う農業共済事業経費の一部を補助することにより、農業経営の安定を図る。				
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	・アライグマについては、大阪府アライグマ対策連絡協議会に参加し、大阪府アライグマ防除実施計画に基づき防除に取り組んでおり、農業者への捕獲檻の貸出し、捕獲奨励金の交付、対応業務をホームサービス株式会社に委託している。 ・イノシシについては、（公社）大阪府猟友会への捕獲業務の委託、農業者の行う有害鳥獣による被害防止設備の整備に対する補助を実施している。 ・大阪府農業共済組合からの補助金交付申請に基づき事業経費の一部を補助する。				
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載					
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	ホームサービス（株）、（公社）大阪府猟友会、大阪府農業共済組合				
10	公民連携・協働事業					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標 点検対象年度
			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
11 農作物被害に係るアライグマ・イノシシの捕獲頭数（業務委託以外の捕獲頭数を含む）	頭	目標値	218	208	203	203
		実績値	203	173		
		達成率	93%	83%		
当該指標を選定した理由		アライグマ及びイノシシが農地に被害をもたらす主原因であるため				
目標値の設定根拠・算出方法		業務委託契約時の想定捕獲頭数（アライグマ） 過去3年度分の捕獲数の平均（イノシシ）の合算				
活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標	
			令和4年度	令和5年度	令和6年度	
12 アライグマ捕獲器貸出の延べ件数とイノシシ捕獲罠設置数	基	目標値	191	213	189	
		実績値	213	189		
		達成率	112%	89%		
当該指標を選定した理由		第4期大阪府アライグマ防除実施計画に基づき、積極的に捕獲を行うため、捕獲器貸出と捕獲罠設置を増設することが妥当であるため。				
目標値の設定根拠・算出方法		前年実績値				

令和6年度 事務事業評価シート（２）

事務事業名	農業振興事業	事業番号	015-036
-------	--------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

事業費	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度		令和6年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	12,459	13,187	15,992	13,119	15,411
財源内訳	国支出金					0
	府支出金		655	261	255	70
	市債					0
	その他（農空間保全・活用事務交付金等）	51	288	51	51	51
	受益者負担金（使用料、手数料等）					0
	一般財源	12,408	12,244	15,680	12,813	15,290
14	人件費（b）	3,280	3,280	4,050	4,050	4,050
15	年間経費（c）=（a）+（b）	15,739	16,467	20,042	17,169	19,461

事業費の内訳

（単位：千円）

事業費内訳	項目	年度		事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
		R5	R6				R5	R6		
16	謝礼金	決算	0	0		農業共済組合推進対策事業補助金	決算	3,138	3,138	
		予算	0	0			予算	3,138	3,138	
	その他報償費	決算	296	296		堺市有害鳥獣被害防止支援事業補助金	決算	84	84	
		予算	440	440			予算	150	150	
	消耗品費	決算	424	374		森林環境譲与税表示ステッカー等作成業務	決算	246	246	
		予算	390	390			予算	0	0	
	農作物鳥獣被害防止対策業務	決算	7,973	7,973		渋谷林道倒木撤去業務	決算	253	253	
		予算	10,878	10,878			予算	0	0	
	堺市鳥獣被害対策協議会負担金	決算	548	293		その他（旅費、通信運搬費等）	決算	157	156	
		予算	210	140			予算	205	154	

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

単位	区分	単位	令和4年度	令和5年度
17	① 農作物被害に係るアライグマ・イノシシ捕獲頭数（業務委託以外の捕獲頭数を含む）	頭	203	173
	② 上記①にかかる年間経費	千円	12,027	11,330
	③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	59,246	65,491
備考（算出についての説明等）		有害鳥獣対策防止対策に係る費用		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	・アライグマ、イノシシともに、業務委託による対応を行っている。捕獲頭数の推移に応じて業務の委託規模の見直しを検討するなど、費用対効果の向上に向け、事業実態を注視していく。
	・台風や豪雨被害に対する備えとして共済への加入は重要であることから、大阪府農業共済組合が行う農業共済事業の事務処理が円滑に実施されるよう経費の一部補助は必要と考える。組合員数、年間経費等についてはおおむね昨年度と同水準で推移しており、費用対効果についても昨年度並みであったと考える。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	・アライグマ、イノシシともに、年度ごとに多少の増減はあるものの一定頭数の捕獲が行われている。継続して捕獲業務を行っていくことで、農作物被害が拡大するのを防ぐ必要がある。
	また、有害鳥獣の生息数の減少のためには、今後も引き続きイノシシの捕獲業務を行うとともに、農業従事者による自衛の重要性をJA堺市、JA大阪南と協力して啓発することで、アライグマの捕獲檻を設置する農業従事者を増やす必要がある。 ・大阪府農業共済組合が行う農業共済事業経費の一部を補助することにより、災害の発生等から農業経営を守り、農業の安定した経営を図ることに寄与した。